

# San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

豊野事業所  
新地域活動  
「幸腹弁当」

2024年1月  
スタート!

地域の方々に幸せと笑顔をお届けします!



REPORT

## 賛育会への支援のご紹介

「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」について

豊野事業所が「豊野配食サービス・幸腹弁当」開始!

Vol. **39**  
2024 WINTER



## 賛育会への支援のご紹介

### ご利用者の息子様からのご寄付

清風園  
(東京都町田市)

祝 清風園60周年記念



ご両親が清風園を利用された息子様からご寄付をいただきました。先にお母様、後にお父様のご利用され、ご夫婦のご利用期間は、約10年に渡ります。お母様は、書道や華道倶楽部などに参加されるバイタリティあふれる方で、お父様は控えめで静かな方でした。今は、お二人とも天国にいらっしゃいます。いただいたご寄付でクライニングの車いす2台と、今年の清風園60周年記念に横断幕を制作して掲げようと考えています。お二人がきっと天国から見てくださる気がして今から楽しみです。

### 「中央競馬馬主社会福祉財団助成金」により 特殊浴槽を整備しました

第二清風園  
(東京都町田市)

この度、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団による「施設整備等助成事業」から助成金をいただき、2023年10月に第二清風園3階の入浴設備を新しくしました。新しい浴槽は高さ調節が可能で、常に安全かつ快適な位置で介助できるので、入浴中でもご利用者と1対1の交流を楽しむことができます。



ご利用者からも「入浴が楽しみになった」との声も聞かれており職員も大変感謝しています。ご利用者の日々の生活に潤いが持てるよう活用させていただきたいと思ひます。

### 賛育会へのご支援のお願い

賛育会では、いのちの授業や子ども食堂、高齢者の居場所づくりなど、60を超える様々な地域支援活動を行っています。皆さまのご支援をお願いいたします。

詳しくはこちらから

賛育会ホームページ  
「賛育会へのご支援のお願い」  
(<https://www.san-ikukai.or.jp/participate/>)



## 「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」について

賛育会「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」は以下の【5段階】に分け、2024年度中に、主に【第1段階】から【第3段階】までの3事業をそれぞれに準備が整い次第、随時始めていきます。

**【第1段階：匿名相談】**⇒妊娠SOS相談(夜間：週3回を予定)を開設します。病院母子支援室はこれまで通り継続します。

**【第2段階：内密出産】**⇒母子の命の保護を最優先にした安全な出産を支援します。

**【第3段階：匿名での預け入れ】**⇒赤ちゃんの命を保護します。

**【第4段階：母子支援】**⇒預け入れられた児は児童相談所と連

携し、養子縁組や里親、乳児院へ命をつなぎます。

**【第5段階：ネットワーク構築】**⇒他団体と協働して、広く地域社会のセーフティネットづくりに取り組みます。

このプロジェクトは、全国の医療機関としては慈恵病院に続いて2カ所目、首都圏では1カ所目の取り組みとなります。これまでに皆さんより励ましや応援のメッセージをいただいております。賛育会のキリスト教精神に基づく「隣人愛の実践」として、赤ちゃんのみならず「すべてのいのちが守られる」社会を目指し、祈りと知恵と力を合わせていきます。

(赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長 大江 浩)

皆さまからの  
応援メッセージ  
ご紹介

取り組みを応援しています。  
一人でも多くの子どもが  
救われますように。

何時の時代もニーズに応えた  
貴重な事業を展開して  
おられると思います。

いのちを守るプロジェクト、  
応援しています。今後も、  
ご支援たく思います。



# 豊野事業所が「豊野配食サービス・幸腹弁当」開始！（長野県長野市） 「食」を通し、地域の方々へ幸せと笑顔を

2019年の被災から4年が経ち賛育会豊野事業所は日常を取り戻しました。しかし今もお不自由な生活を余儀なくされている被災者の方々がいるのも事実です。「地域の復興なくして事業所の復興なし」を合言葉に地域支援活動を行ってききましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限されました。「とよのスマイル幸腹食堂」の再開を模索している中で、私たちは地域住民の方々のために何ができるかを改めて考え、「食」を通して幸せを届ける「幸腹弁当」という配食サービスプロジェクトを立ち上げました。

「幸腹弁当」は管理栄養士がバランスを考えた手作りのお弁当で、被災者復興住宅の高齢世帯や、買い物や調理に負担を感じている方々に安否確認を兼ねて手渡しで提供します。また、地域住民による配達ボランティア（幸腹サポーター）は弁当の配達を通じて生活支援の担い手として社会的な役割をもつことができ、生きがいや地域での活動の場を広げることができます。

この配食サービスは2024年1月からスタートした新たな地域活動で、必要としている方に必要な「食」の支援ができるように努めて参ります。「幸腹弁当」は地域住民の方々と豊野事業所をつなぎ、支え・支えられる地域共生社会を実現する大切な活動の一つです。

（豊野事業所 栄養課 宮崎真吾）



管理栄養士監修  
ほかほか手作りの「幸腹弁当」

地域の方への説明会の様子

プロジェクト会議の様子

配達の様子

## SAN-IKUKAI HOSPITAL

### 外来棟西館解体に向け 「事務棟」に加えて、「玄関棟」も着工しました。

12月から、「事務棟」は鉄骨を組み立てる段階に入り、1月に入ってから建物のボリューム感が分かる状況になってきました。

また、大通りに面した旧法人事務局棟の隣りのスペースに、新たな外来入口となる「玄関棟」を建設予定で、こちらも12月から着工しました。共に、夏の完成を目指して工事を進めています。

引き続き、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

事務棟の鉄骨が組みあがり  
建物のサイズがわかるように



玄関棟がいよいよ着工



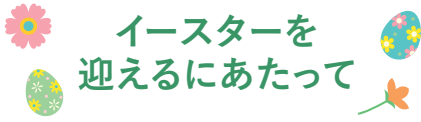
### 社会福祉法人 賛育会 賛育会病院 賛育会将来構想特設サイト

賛育会病院建て替えと、賛育会病院太平地区再整備・立花地区整備事業の特設サイトを公開しました。今後の工事進捗や詳細を随時更新予定です。

詳しくはこちら

[https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/hospital\\_ss/](https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/hospital_ss/)





## イースターを 迎えるにあたって

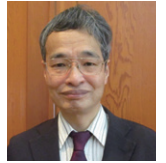
豊野事業所を通して賛育会を支えてくださっている日本キリスト教団長野教会の横井伸夫牧師にイースターのメッセージをいただきました。

### 「なぜ、泣いているのか」

日本キリスト教団 長野教会 牧師 横井伸夫

マリアは主イエス・キリストの墓の前で泣いていました。日曜日の朝、マリアは、主イエスの遺体を手厚く葬りたいと願い、墓に来たのです。しかし墓の入口は開き、主イエスの遺体が見当たりません。困惑したマリアは、泣き続けるしかありませんでした。

今年のはじめに能登半島地震が起きました。多くの人が大切なものを失いました。涙するしかない死の現実を見せつけられて、多くの人が悲しみの中にあります。しかし、その対極から悲しむ者に呼びかける声があります。悲しむマリアの背後から、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と呼びかけたのは、復活の主イエス・キリストでした。マリアは振り返ります。でも、自分に語りかけているのが、主イエスだとは、わかりませんでした。そのマリアに対し、主イエスは「マリアよ」と呼びかけられます。マリアは、主イエスだとわかり、「ラボニ(先生)」と答えました。マリアは、主の復活の喜びに満ち溢れます。主イエス・キリストは、「死」の中にはおられません。その反対の「いのち」の中におられます。主イエス・キリストは、死に打ち勝たれ、復活されました。「私は死に打ち勝った。だからあなたはもう泣かなくてよい。むしろ喜びなさい」と主イエスは私たちを慰め、決して尽きることのない喜びに招いてくださっています。



マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中を見ると、イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを探しているのか。」マリアは、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。イエスは言われた。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとにへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行って、こう言いなさい。『わたしの父であり、あなたがたの父である方。また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る』と。」マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。

ヨハネによる福音書20章11～18節

## INFORMATION

### SEAP2023入賞作品紹介 (San-ikukai Excellent Activities and Projects) ～調査研究・実践事例発表会～

2023年11月18日にSEAP2023が開催されました。18組の発表があり、審査員の厳正なる審査・投票の結果、以下の作品が入賞しました。おめでとうございます。

#### 《最優秀賞》

- 「地域とつながり、ともに生きる」の実現へ  
～包括が開催する、問題解決型地域ケア会議を通して～  
マイホーム新川：中村華子、岩野たみ子、岡啓

#### 《優秀賞》

- Tie-up! ともに歩む  
～無人自動調理機の活用と効果、楽しみのある食事を提供するために～  
東海清風園：岡本麻衣、株式会社グリーンヘルスケアサービス
- 車いすの街歩きを通して分かったこと  
～地域共生社会の実現に向けた取り組み～  
はなみずきホーム：福岡正淑、阿部朋未、江口裕子、片岡愛

#### 《審査員特別賞》

- 「新型コロナウイルス感染症対策 初動72hの手引き」作成  
～クラスターの経験を活かして～  
東海清風園：大村拓智、山田愛子
- 《サマリア賞》\*施設長が選ぶ賞
- 豊野事業所だから出来た！  
～強みをフルに活かした地域包括ケアシステムの実践事例～  
豊野事業所：竹内智明、藤澤久美子、小川貴弘
- 《からし種賞》\*職員が選ぶ賞
- 医療ニーズに対応した特養の在り方についての実践  
～各職種の専門性の理解からチームケアの構築へ～  
第二清風園：鈴木沙緒吏、林綾子、石引麻里子、橋本修幸、奥津亜季



### 笑顔溢れる お正月ショット!

たちばなホーム(東京都墨田区)

お屠蘇をいただいて、一年の邪鬼を払って、長寿を願います! 新年より素敵な笑顔に元気をいただきました!



ひょっとこ福笑いに挑戦しまーす!  
男前に  
お願います♡



## San-iku 通信

San-iku通信 Vol.39 2024年 冬号

編集: 賛育会法人事務局

発行人: 中村 基信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

印刷: (有)エースプリント (20240130-6850)

社会福祉法人 賛育会  
〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8  
URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>  
お問い合わせ  
TEL: 03-3622-7614

